



夜空に咲く大輪の華

雨の影響で開催が危ぶまれた「深華」。陽が沈む頃にはすっかり上がり、お盆の帰省客や多くの町民が見つめる中、漆黒の空に次々と大輪の華を咲かせました。



②



①



⑤



④



⑦



⑥



⑧



豪雨の爪痕

8月5日から6日未明にかけて、当町を襲った大雨。
この間だけで、8月の平均降水量にせまる143.5mmの降水量を記録、
自然の脅威をまざまざと見せつけた。

大量の土砂が流れ込んだ町道長慶平3号線（猿の湯付近）

① 午前0時からの6時間で120mm以上の雨が降った笹内川。水位も1m以上上昇し、川は茶色く濁った
② 笹内川の増水により道路が寸断された県道岩崎弘前西目屋線（通称白神ライン）
③、④ 北金ヶ沢地区では水路がつまり、あふれた水が住宅地へ流入。あつという間に茶色い水に覆われた
⑥ 氾濫注意水位を超えた追良瀬川では、上流にある松原地区の生活道路が一部決壊
⑦ 国道でも至る所で土砂崩れや道路冠水の被害が発生（黒崎地区）
⑧ 五能線も土砂流出により大きな被害。徹夜での復旧作業により8月30日には全面開通した（大間越地区）

豪雨による町の被害状況

被害区分	件数	金額（千円）	内 容
住家	23件		床上浸水10、床下浸水13
公共施設		212,218	
上水道	2件	7,218	大間越、黒崎地区導水管破損
公共土木施設	14件	146,500	道路11、河川3
農業用施設	11件	57,900	農道2、林道5、水路等4
その他		600	水産関係施設2
その他		5,100	定置網の流木被害、農地への土砂流入等

※ 8月18日時点の概算金額。

懐かしい! 恥ずかしい?

成人式終了後の夕方、岩崎中学校卒業生17名が5年前に埋めたタイムカプセルを掘り起こそうと、母校に集まりました。

新成人たちは、それぞれ自宅からスコップや鍬を持参し、やる気満々。恩師である山谷匠顕先生も駆けつけ、目印として建てた標柱の周辺を掘り起こしました。



50cmほど掘り下げたあたりで、ビニール袋に入ったスーツケースが姿を現すと、新成人たちは中身が気になって仕方がない様子。開封してみると、当時のノートやドリル、賞状や学級通信など、5年前にタイムスリップする思い出の品が次々と出てきました。

そんな中、5年後の姿を想像して書いた「よげんの書」が出現。予言通りになった人、違う道に進んだ人など現在の状況と照らし合わせ、みんなで夢中になって読んでいました。

開封に立ち会った山谷先生は「昨日のように記憶が蘇ってくる。受け持った中でも思い出深い卒業生です」と語り、懐かしい話は尽きない様子でした。



夢に向けて

日々前進

し続けることが、これまで育ててくれた方々への恩返しになると信じ、深浦町を誇りに思い、毎日を大切に歩んでいくことを約束します」と、新成人としての飛躍を誓いました。

式典後はパーティが開かれ、町教育委員会から贈られたDVDを鑑賞。小中学校時代の写真や中学校時代の恩師がスクリーンに上映されると、大きな笑い声や歓声が上がり、思い出話に花を咲かせました。

また、会場内では久しぶりに会う友人と記念撮影をしたり、手を取り合って笑顔で互いの近況報告をする姿が。社会を支える土台としての一歩を踏み出し、将来の夢や目標に向かって努力している新成人たちは、いきいきとした表情を見せていました。

8月14日、深浦町成人式が町民文化ホールで行われ、対象者91名のうち74名が出席し、友人とともに成人を祝いました。

式典では、新成人の古川奏さん（北金2区）が司会を務め、出席者全員を紹介。その後、坂本寛教育長が「少子高齢化と人口減少が同時に進行している時代だからこそ、大きな夢や希望を持ち、力強く前に進んでいってほしい」と式辞を述べ、続いて吉田町長、小野議長からお祝いのことばが送られました。

これを受けて、新成人の榎本優太さん（岩崎下）が「自分たちも社会を支える礎であるという自覚を持って努力



受付で2分の1成人からひまわりを受け取る



小中学校時代の映像で表情も和やかに

Q：成人の日を迎えて率直に考えることは？
 A：すてきな大人になったと思います
 Q：近況報告をどうぞ！
 A：同じ大学でそれぞれ夢をつかむため努力しています!!
 Q：これからの目標は？
 A：将来の夢をかなえ、憧れられる女性になりたいです
 Q：成人式を迎えて感謝の気持ちを誰に伝えたいですか？
 A：愛する家族や大好きな友人に声を大にして伝えたいです！
 Q：あなたにとって「深浦町」の誇れるところは？
 A：町民全員があたかいところ
 （2人一緒に考えてくれました）



（左から）小山興子さん(12区)、
葛西友梨さん(6区)、

Q：成人の日を迎えて率直に考えることは？
 A：大人になったので責任を持った行動をしていきたい（田丸さん、秋元さん）
 Q：近況報告をどうぞ！
 A：スパルの工場で車作り（田丸さん）
 佐川急便で働いています（秋元さん）
 Q：これからの目標は？
 A：貯金をして車を買う（田丸さん）
 マイホームを買う（秋元さん）
 Q：成人式を迎えて「ありがとう」という気持ちを誰に伝えたいですか？
 A：親にさりげなくプレゼントして感謝の気持ちを伝えたい（田丸さん）
 親に今までありがとうと伝えたい（秋元さん）
 Q：あなたにとって「深浦町」の誇れるところは？
 A：山、海、夕陽（田丸さん）
 自然（秋元さん）



（左から）田丸英之さん(関)、
秋元響さん(関)

Q：成人の日を迎えて率直に考えることは？
 A：すごく早いと感じます。まだまだ子どもだと思ってたが、今日を迎えて大人になるんだという意識が芽生えました（岩根さん）
 もう成人かという気持ちでいっぱいです。成人としてこれからどうなるのかとても楽しみです！（平澤さん）
 Q：近況報告をどうぞ！
 A：青森の短大で保育士を目指しています（岩根さん）
 秋田の専門学校で美容師になれるよう日々頑張っています（平澤さん）
 Q：これからの目標は？
 A：保育士になること（岩根さん）
 悔いのないようにやりたいことをやって人生を楽しみたい（笑）（平澤さん）
 Q：成人式を迎えて感謝の気持ちを誰に伝えたいですか？
 A：大好きなお父さんとお母さん。いつも心配や迷惑をかけた分これからは親孝行していきたいです。そしていつも励まし合っている大切な友達にも大きな声で伝えたいです（岩根さん）
 家族。いつも一緒にいる友達。ありがとー!!（平澤さん）
 Q：あなたにとって「深浦町」の誇れるところは？
 A：人が温かく自然が多い所。大好き深浦♥（岩根さん）
 自然（平澤さん）



（左から）岩根真美さん(正久)、
平澤里乃さん(森山)

新成人

聞きました



（左から）岸本翔平さん(川原町)、
藪崎瞬さん(12区)

Q：成人の日を迎えて率直に考えることは？
 A：深浦で成人を迎えられてHAPPY
 Q：近況報告をどうぞ！
 A：弘前で焼き鳥を食べながら大学で福祉の勉強をしています（岸本さん）
 北海道で義肢装具士目指して頑張っています（藪崎さん）
 Q：これからの目標は？
 A：資格を取得し、世の中の役に立ちたい（岸本さん）
 絶対青森に帰ってくる（藪崎さん）
 Q：成人式を迎えて感謝の気持ちを誰に伝えたいですか？
 A：家族と大切な友人に心をこめて「ありがとう」と言いたい（岸本さん）
 今までお世話になった人に声高々に感謝を伝えたい（藪崎さん）
 Q：あなたにとって「深浦町」の誇れるところは？
 A：海がきれいで人の心もきれいな所（岸本さん）
 つるつるわかめ（藪崎さん）



（左から）山崎雅さん(北金3区)、
古川奏さん(北金2区)、中原彩乃さん(関)

Q：成人の日を迎えて率直に考えることは？
 A：ここまで成長できたということに対し感謝の気持ちでいっぱいです
 Q：近況報告をどうぞ！
 A：仙台の学校に通っています！
 Q：これからの目標は？
 A：建築系の学校に通っているの、そういう仕事に就ければと思います
 Q：成人式を迎えて感謝の気持ちを誰に伝えたいですか？
 A：進路のことで迷惑をかけてしまったので、両親には今までありがとうと伝えたいです
 Q：あなたにとって「深浦町」の誇れるところは？
 A：大イチョウと豊富な海の幸!!
 （代表して古川奏さんに聞きました）



（左から）大屋正乙さん(黒崎)、
榎本優太さん(岩崎下)

Q：成人の日を迎えて率直に考えることは？
 A：早いなあと素直に思います。また、大人になったと感じています（大屋さん）
 立派な大人になれるか不安もありますが、将来への楽しみの方が大きいです（榎本さん）
 Q：近況報告をどうぞ！
 A：救急救命士の資格をとるため、専門学校へ通っています（大屋さん）
 大学で勉学に励んでいます（榎本さん）
 Q：これからの目標は？
 A：消防へ就職し、深浦町や青森県全体の平均寿命を延ばしたいです（大屋さん）
 国家試験に合格すること（榎本さん）
 Q：成人式を迎えて感謝の気持ちを誰に伝えたいですか？
 A：母（大屋さん）
 お世話になったすべての人に直接お礼を言いたい（榎本さん）
 Q：あなたにとって「深浦町」の誇れるところは？
 A：自然があふれていて、人が優しくつながりがとても強いと思います（大屋さん）
 心を癒してくれる自然（榎本さん）



浮かぶ武者絵 雨雲を吹き飛ばす



8月6日、深浦子どもねぶた世話人連絡委員会によるねぶた合同運行が行われ、6台のねぶたが深浦地区中心街を練り歩きました。

年々参加団体が減りつつあるものの、各地区では、5月下旬からねぶた作りを開始。伝統ある深浦ねぶたの技術を伝えようと、地区のお年寄りや自治会が子ども会やねぶた愛好会と一体となって製作に関わっています。

前日から降り続いた大雨の影響で1日延期され、当日も開催が危ぶまれたねぶた運行は、午後7時前にねぶたに火が入ると雨もびたりと止み、岡崎駐車場からJAつがるにのしきた深浦支店へ向けてスタート。菊地商店前（浜町）からは、深浦ねぶた囃子保存会とねぶた踊り保存会が運行の先頭に立ち、勇壮な囃子と華やかな流し踊りで、運行に華を添えました。

各団体は、色彩豊かな色使いで描かれた躍動感ある武者絵のねぶたを運行し、沿道に集まった多くの住民が、夏の伝統行事を楽しみました。



ゆかた大賞に輝いた
棚内将太さん、木村静香さん(藤崎町)



ふかうらゆかた大賞には7組12名が参加

踊りが結ぶ笑顔の輪

やぐらを囲んで
みんなでヤットセ

夏の暑さを和らげる浴衣をはおり、町民一体となって深浦小唄を踊る「津軽深浦風待ち湊ふかうらヤットセ」が、夕陽公園で行われました。

お盆の帰省客や町民からの意見を取り入れ、今年は8月14日、15日に開催。聞き慣れた深浦小唄の音色、提灯とやぐらが作る色彩がお祭りムードを高め、帰省客らにとつてなつかしい憩いの場となっています。

会場には両日とも多くの人が訪れ、特産品争奪ゲーム大会やジャズ&フラダンスショー、恒例となった「ふかうらゆかた大賞」など多くのステージイベントを楽しみました。

また、メインイベントの「ふかうらヤットセ総踊り」では、浴衣を身にまとった老若男女が輪を作り、深浦小唄に合わせて踊りを披露。優雅に舞う踊りにつられて、周りで見ていた方々が次々と輪の中に参加し、やぐらの周りには一体感と笑顔があふれ、参加者は過ぎ行く夏のイベントを満喫していました。

8/25 ヘリによる救出の流れを確認

1年を通して遊泳客や釣り客が訪れる西海岸。海難事故や水難事故が度々発生していることを受け、鰯ヶ沢地区消防事務組合は、県防災航空センター及び鰯ヶ沢警察署と合同水難救助訓練を行いました。

訓練は、十二湖海浜公園で釣りをしていた男性が海に転落し、助けようとした男性も海に転落して沖合に流されたと想定。防災ヘリ「しらかみ」に救助を要請するとともに、潜水隊による捜索も行われました。

当町の防災ヘリ出動要請の傾向としては、海難事故に加え山岳事故も多いのが特徴。参加者は、真剣な表情でヘリから救急隊に救助者を引き継ぐまでの一連の流れを確認し、いざという時の対応について認識を新たにしていました。



上空から救助地点へ降下



要救助者を防災ヘリへ収容



慣れないカマを手に除草作業



学生からの農漁業の質問に答える

生産現場が最高の学び場

東大生による農漁業体験プログラムが、8月18日から29日にかけて行われました。

「よりタフに、よりグローバルに時代を担う学生を育成すること」を目的とした研修には、5名の学生が参加。自然栽培農法やサザエ漁などの1次産業、町づくり応援隊との散策や観光客おもてなしなどを体験しました。

学生たちは、10日間で感じたことを町づくりに活かしてもらおうと、28日に報告会を開催。新規農業者を受け入れる町や学生や研究者が来て活気あふれる、域学連携事業の導入などを提案し「深浦で最高の学びができ、成長できた」と、感想を語りました。

これを受けて、学生を受け入れた新岡重光さん（風合瀬）は「ここで体験したことを生かしてがんばってほしい」と、学生たちにエールを送りました。



みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町企画財政課 企画調整係
電話 74-2113

まちかど

ウォッチング

8/10 親族に囲まれ100歳を祝う

鰯ヶ沢町のつくし荘で暮らす山本まささん（田野沢）が100歳の誕生日を迎えました。

吉田さんは、1914年（大正3年）旧赤石村生まれ。1934年（昭和9年）に結婚し、6人の子どもと孫13人、ひ孫17人、玄孫1人に恵まれました。

山本さんの長寿の秘訣は、食べ物の好き嫌いがないこととゲートボールなどで体を動かしていたこと。今でも相撲観戦が大好きな山本さんは、顕彰状を受け取り「ありがとうございます」と、お礼を述べていました。



親族と長寿を祝う山本さん（前列中央）

8/18 平和な社会を祈念

町出身の戦没者を追悼し、恒久の平和を祈念する深浦町平和祈念祭が、町民文化ホールで行われました。

式典には、関係者や遺族の方々など約80名が出席。君が代斉唱後、戦没者へ黙祷が捧げられました。

その後、町遺族会の川村悦雄会長が「戦後69年を迎え、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝え、2度と戦争をしないよう深く肝に銘じる」と、追悼のことばを述べました。

参列者は一人ひとり献花して手を合わせ、戦争のない平和な社会を祈念しました。



8/21 交通死亡事故ゼロ500日達成

平成25年4月7日から継続している交通死亡事故ゼロが、平成26年8月20日で500日を達成し、県警察本部から町交通安全対策協議会（吉田満会長）と交通安全母の会（住吉千代会長）に感謝状が贈られました。

これは、ドライバーへの街頭指導に加え、反射材テープの使用を呼びかけるなど、交通安全への取組みと町民の安全運転が実を結んだ結果です。

町では、今後も安全意識の普及を進め、交通死亡事故ゼロの更新を目指しています。



大切な御縁をいただいたお客様に ~ありがとう~ と言われる仕事を心掛けています。

家族葬から一般葬・社葬まで
ご予算に応じた御葬儀を
提案・施工いたします。

ご用命は
任せて安心の

厚生労働省認定

1級葬祭ディレクター在籍店

「ペット葬」も承ります

病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車で！

「一般貨物自動車運送事業（霊柩）第497号」

365日・24時間受け付けております。



株式会社 深浦葬祭

Fukaura Funeral Service

電話(74)4536

FAX: 74-4546



ラーメン101 季節限定メニュー

焼干つけ麺
680円

冷水でしめた麺の食感。
まるやかな味わいの中に
焼干の香ばしさが後をひくスープ。

深浦町月屋裸森24 ☎75-2161 営業時間11時~17時(火曜定休)

物産館で販売中

深浦マグロ
料理グランプリ
2014
2014 FUKAURA MAGURO COOKING GRAND PRIX
初代グランプリ
マグカツドック

ウェスバ椿山

ふかうら いいね!👍

Good Job! Fukaura

●● 安田 英幸さん ●●

(風合瀬)

今年成人式を迎えた新成人は91名。その多くは、進学や就職で深浦町を離れ、新しい場所で生活していますが、町内で活躍している新成人もいます。今回は、深浦消防署に勤務する安田さんにお話を伺いました。



あこがれだった消防士

町民の安全・安心を守るべく活動している消防署。今年4月には高機能訓練塔やトレーニングルームを備えた新しい深浦消防署が完成し、安田さんは、消防署員として技術を高めるべく日々業務に励んでいます。

安田さんが消防士になろうと思ったのは、中学生時代に見たドラマの影響。特別高度救助隊（通称スーパーレンジャー）を目指すドラマを見て「人命救助を行う隊員の姿がかっこ良かった」と、消防士にあこがれを持つようになりました。

高校入学後も夢は変わることなく、一昨年消防のほか青森県警の採用試験を受け両方とも見事合格し、迷うことなくかねてからの夢であった消防士として社会人生活をスタートさせました。

消防士採用後は、消防の基礎を学ぶため消防学校に入校。消防法や消防制度などの学科をはじめ、消火や救助、機器取扱等の訓練を半年間受け、帰町後は先輩隊員の教えを受けながら、昼夜を問わず24時間体制で勤務にあた



真剣な表情で訓練に取り組む

資格取得で地域の助けに

消防士として1年が経過した安田さんは、様々な状況を想定した訓練を行っています。あこがれだった職業のため「訓練は全然苦にならない」と言い、技術の向上に余念がありません。

安田さんにとって、これまでで印象深い現場は「山岳遭難」。道のない急斜面を分け入り、ぬかるみやでこぼこで足元が悪い状況の中、暑さも加わって救助者を捜索することが大変だったようです。幸い救助者も発見され、大事には至らなかったですが、自然を相手にすることの大変さを痛感した一件となりました。

ただ、深浦町においては、火災現場や救助活動への出動要請が少ないのもまた事実。実際、救急出動が圧倒的に多く、地域によりますが能代市から弘前市まで広範囲に渡って患者を搬送しています。

このような状況を受けて、安田さんのこれからの目標は「救急救命士の資格を取る」こと。絶対的な医師不足である深浦町において、搬送先の病院到着までの間に救命処置ができる救急救命士の役割は、非常に大きな意味を持ちます。救急出動を何度も経験し、町民の命をつなぎ地域の手助けになればと、安田さんは考え始めています。もちろん最初からの夢だった消防・救助活動を諦めたわけではなく「将来的には、救助に関する資格も取りたい」と、大きな夢を語ってくれました。

あどけない表情の中、社会の一員としてしっかりと将来を見据えている安田さん。自分の夢をかなえた今、さらに上の目標達成に向けて走り続けています。

県民体育大会 各種競技で活躍

8月9日、10日及び16日、17日に、むつ市を主会場に行われた第69回青森県民体育大会において、9競技に出場した深浦町選手団が大いに活躍しました。

個人種目の水泳での好成績をはじめ、団体種目ではゲートボールが2位、軟式野球や相撲、バレーボール女子が3位になるなど、日頃の練習の成果を存分に発揮し、総合成績も大きく躍進しました。

なお、深浦町選手団の成績は次のとおりです。

深浦町の成績

総合成績 町村の部10位（昨年度第17位）

- 水泳 30歳未満100m背泳ぎ 2位 成田 裕太
30歳未満50m背泳ぎ 3位 成田 裕太
60歳以上50m平泳ぎ 3位 角谷 良司
- ゲートボール 2位
- 軟式野球、剣道、相撲、バレーボール女子、ソフトボール 3位
- バレーボール男子、バドミントン、サッカー 1回戦敗退



円陣を組んで気持ちを統一



力を出し切り笑顔

マグロは今年も止まりません

深浦マグロ料理推進協議会（西崎朋会長）は、「深浦マグロステーキ丼」に続く新・ご当地みやげ「ザ・深浦マグロカレー」を、8月9日からマグステ丼提供店やウェスパ椿山、アオーネ白神十二湖等で発売しました。

深浦産本マグロの味が引き立つようスパイシーさを抑えたカレーは、優しい味わいで早くも観光客に大人気。発売から20日間で約1600食を売り上げ、上々の滑り出しとなっています。

「ザ・深浦マグロカレー」発売効果も手伝い、深浦マグロステーキ丼も8月13日には5万食を突破。8月末日現在で5万3千食以上を売り上げ、順調に数字を伸ばしています。

さらに、全漁連が青森県の夏の魚としてマグロを選出。深浦マグロの単価も上昇傾向にあり、ブランド化に向けた勢いは、今年も継続中です。



記者発表する西崎会長（右）



60gのマグロ入の「ザ・深浦マグロカレー」

広告募集中!!

会社やお店の宣伝・
イベントの告知に
ご利用ください!

問合せ先
企画財政課 企画調整係
74-2113

大企業の余剰パソコンを、一般家庭に有効活用頂くエコ推進活動です。初心者の方・サポート終了のXPをお使いの方に

すぐ使える **ウィンドウズ7ノートパソコンをお譲りします**

富士通・東芝・NEC12～15型 ワード・表計算・プレゼンソフト2013年版付DVD・CD 視聴可 機器は無償でお譲りします。お譲りご希望者は機器を動かすためのウィンドウズ7正規認証版、ソフトインストール代の下記諸費用をご負担下さい。

今週30台ご用意・下記会場で機器をご覧頂けます

9月25日(木)
午後3時～5時
弘前商工会議所 会議室
弘前市上轡師町18-1

一台あたり諸費用
23,000円(税込)

XP・教育団体の方は別途ライセンス機あり
詳しくはお問い合わせください

マイクログソフト社認定MRR 主催 株式会社フオーインク
名古屋市中区東区2-3-7 東カビル1F
TEL 052(380)9211 http://forincs.com

お問い合わせは会場担当 田中まで
080(3677) 5329

Microsoft REGISTERED Refurbisher

たけくま動物病院
TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地
TEL **0185-89-2666**

http://www.takekuma-vet.com/

◎診療時間

	月	火	水	木	金	土	日・祝日
午前	9:00～12:00	○	○	10:00 12:00	○	○	10:00 12:00
午後	3:00～6:00	○	○	3:00 5:00	○	3:00 5:00	1:00 3:00

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

30分前までです 受付時間は終了の

入院施設有
往診快諾

■ペットホテル・トリミング有
■避妊・去勢手術随時受付
■狂犬病・フィラリア・
混合ワクチン予防実施
■各種検査、健康診断(血液・
レントゲン・超音波・内視鏡・
心電図等)

MEGA すき家 寿司 ITOKU
TUTAYA ホテルミナミ
四小入口 ももデンタルクリニック
たけくま動物病院
TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL
ローソン
第四小学校

前関診療所所長 柳善佑先生ご逝去

深浦町の地域医療の充実に貢献されました柳善佑先生が、去る8月14日、お亡くなりになりました。

柳先生は、兵庫県淡路島出身で芦屋高校から大阪市立大学医学部を卒業後、陸上自衛隊の医官として勤務。昭和53年1月から平成15年10月まで和泉市立病院（大阪府）で外科医として26年間勤務され、同病院の外科部長兼救急部長を辞職し、当時常勤医師のいなかった関診療所に平成15年11月に所長として赴任しました。

赴任当初から深夜の救急患者や時間外患者の診療を行うなど、休日・夜間でも医師が24時間体制で対応する在宅医療やターミナルケアに取り組むなど、医療環境の厳しい深浦町で、地域住民の命を守る診療を柳先生の医師一人体制で行いました。

退任後、芦屋市の自宅で療養されていましたが、その後、和泉市立病院に入院し、72歳の生涯を閉じられました。

生前の町への多大なるご功績にお礼を申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。



健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月の
ドクター 宮重希典先生
みやしげ内科クリニック・院長



食塩感受性と高血圧

以前より塩の摂り過ぎが、高血圧の原因として重要な事は知られています。世界の様々な民族を対象とした疫学調査からも、食塩摂取量と高血圧発症とは相関がある事が示されています。

食塩の過剰摂取が高血圧の主因である事は明確ですが、食塩に対する血圧の反応は個人差があるのも事実です。

本態性高血圧は、食塩に対する昇圧反応性から食塩感受性と非感受性に分ける事ができます。日常診療では簡便に2つに分ける検査はまだないのが現状です。そこで臨床病態からの判断が必要となり、次のような方が食塩感受性が亢進しています。高齢者、女性、肥満、慢性腎臓病の患者さんなどです。食塩感受性の原因として遺伝素因、環境要因などが考えられています。

最近、血圧の日内変動パターンが心血管リスクに関係することがわかってきました。大規模臨床試験の結果、診察室血圧より夜間血圧の方が心血管病発病率と相関が高いという事がわかってきま

した。食塩による血圧上昇の機序として、腎臓でのナトリウム排泄機能が障害され、その結果種々のナトリウム排泄調整機能も障害されるからと考えられています。食塩感受性高血圧の患者さんはナトリウム排泄障害があるので、代償性に夜間に血圧が上昇し、心血管イベントを発症し易い状態になっています。夜間高血圧の患者さんに利尿剤（腎臓からナトリウムを排泄させる）を投与する事により、夜間血圧が低下するのが認められています。

一般に高血圧患者さんは正常血圧者に比べて食塩感受性が高い事がわかっています。以上より血圧を下げるには減塩が不可欠であります。みなさんも今一度、減塩について見直してみませんか？



今月号から教育課社会教育係の社会教育推進に向けた事業について紹介します。

目的：異世代間交流の充実

施策：世代間交流を図りながら、地域の子どもは地域で守り、育てよう。

※「第2次深浦町中期社会教育計画」より抜粋

「レッツ！ふかうら 放課後子ども教室」って何？

児童の放課後の学校外での「安全・安心な居場所」づくり！

児童の放課後の学校外での安全・安心に活動できる「子どもの居場所」（活動拠点）を確立し、学年が違う児童が集まることにより、思いやりや助け合い、協調性を学ぶ機会とし、また、体験活動を通じて地域の大人との交流の場を目指します。

安全管理員を各教室に3名委嘱し、子ども達を対象としたスポーツや文化活動などの様々な体験活動や地域住民との交流活動など行います。

北教室（修道小学校区）、中央教室（深浦小学校区）、南教室（いわさき小学校区） 年間約230日程度開設

【活動内容】 宿題、自由遊び、工作、季節行事（七夕、節分）、軽スポーツ、歩け歩け大会参加など

※今年度から保護者の要望により、夏休み・冬休み期間は午前8時から午後6時までの開設とします。



安全管理員と一緒に新聞紙で魚釣りゲームづくり（レッツ！北教室）

新しくエレン先生（外国語指導助手）が着任!!

【教育課学務係が担当】

深浦町に新しくALT（外国語指導助手）エレン先生が着任しました。

前任のマックス先生にかわり2学期から町内3中学校で英語の授業で指導助手を務めます。

この事業は、「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」といい、中学生を対象に国際感覚の育成、語学力の向上を目的として実施しています。

エレン先生を紹介します。

Fraser Ellen（フレイザー エレン）

国籍：イギリス（イングランド）

趣味：ピアノ・バイオリン・サイクリング・音楽鑑賞など
好きな日本食：雪見だいふく（アイスクリーム）

深浦町のみなさんへメッセージ（日本語でメッセージを書いてくれました。）

皆さん、はじめまして！深浦町で働くことを楽しみにしています。とてもきれいな場所に住めて私は幸せです。よろしくおねがいします！ エレン



エレン先生
只今、中学校の英語授業に向けて準備中



深校だより

中学生の体験入学に20名参加

8月4日、深浦中11名、大戸瀬中1名、岩崎中8名の計20名の参加者を迎え、平成26年度深浦校舍体験入学を開きました。

午前9時より学校のしくみについての説明、ビデオによる学校行事・生徒会活動の紹介を行いました。

その後、本校の教員による模擬授業（理科「生物の多様性」について、商業「簿記」について）、施設見学と続き、最後は部活動見学で締めくくりました。

本校の特徴は大きく二つあります。一つは、卒業後の進路の決定率がほぼ100%であるところです。もう一つは、生徒の仲が良く、個々の力や興味・関心にあった指導を受けることができるということです。ぜひ、入学し、その良さを味わって欲しいです！

座礁船アンファン号 周辺の海岸清掃活動



8月8日、深浦町岩崎地区の海岸に座礁し、放置されているカンボジア国籍の貨物船アンファン号周辺の海岸清掃活動が行われました。アンファン号からは、船内の装備品や道具類が付近の海岸に流れ着き、大きな問題となっています。当日は、本校の生

9・10月の行事予定

- 9月10日(水) 保育体験学習(1年) 食育講座(2年)
- 11日(木) ふるさと研修② ※えのき保育園園長大沢潤蔵氏による講演
- 17日(水) 薬物乱用防止教室
- 22日(月) 遠足
- 24日(水) 校内防災訓練
- 10月1日(水)～3日(金) 中間考査
- 7日(火) 芸術鑑賞教室
- 25日(土) 深校祭(よさこいソーラン)
- 26日(日) 深校祭(一般公開)



太宰の宿 八かうら文学館

今月の一冊

日本のお祭り文化、発信します。

『異世界でカフェを開店しました。3』

甘沢林橋／著
アルファボリス／発行

このコーナーでは、太宰の宿八かうら文学館が薦める書籍を紹介しています。

ある日突然、料理の不味い異世界にトリップしたリサ。異世界の食文化を発展させるため、カフェを開店したリサの活躍を描く第三巻です。

リサの住むフエリフオミア王国では、年に一度、国を挙げての花祭りが行われます。国民が伝統衣装を着て祭りを楽しむこの日は、演劇やダンスなど様々な催しがいっぱいです。しかしこの世界には、リサの楽しみにしていた食べ物を売る屋台がありません。

がっかりしたリサですが、それならば自分が屋台を出そうと出店計画に取り組みます。

リサが講師を務める料理科の生徒たちも屋台を出すことになり、着々と計画は

進んでいたのですが、祭りが近づくと使った予定の食材が突然手に入らなくなったり、忙しさを恋人のジークとの仲がこじれてしまったりとトラブルが続くようになります。

リサの屋台出店計画は成功するのか、ジークと仲直りはできるのか。続きが気になって読み始めると止まらない、おすめの本です。※著者は深浦町岡町出身の松沢明美さんです。



町民文芸会

俳句

いとつ咲きいとつ萎れし紅芙蓉
過疎村の一語一語の晩夏光
ねむの花斜め走りに朝の雨
白神山の樵ひびきあふ蟬しぐれ
落日の芯に溶けゆく夏の雲
歩み止めの虫の声きく余裕あり
ささやかな門に風呼び凌霄花
落日のあとはいっそり月見草
空明かりうすれて踊りの輪が縮む

山本 志恵
菊池 シェン
砂子田 ツエ
山本 こう女
蒲田 幸子
渋谷 真佐江
田口 ゆき
七戸 たか女
近藤 月子

編集後記

広島で発生した大規模な土砂災害。大量の土石流が住宅地を飲み込んだ光景は、想像を絶するものでした。

8月には、当町でも大雨が降り、あちこちで道路崩落、土砂崩れによる通行止めなど大きな被害が出ました。

この状況を記録しようと、カメラを持って取材に出かけました。普段目にする川とは様子が一变、茶色い水が勢いよく流れ、水煙でもやがかかった状況。そんな中、写真を撮っていると後方から「バリバリ」という音が聞こえ、川岸の木々が流されるのを目にし、自然の脅威を痛感させられました。

これから秋にかけては、台風の接近するシーズン。これ以上大きな被害がないことを願っています。

戸籍の窓

7月21日～8月20日までの戸籍届出

お誕生おめでとう

おぐやみ申し上げます

福沢 椰聡(聡涉) 崎の町
小島 星彩七(直也) 北金1区
小山内 麗華(奨太) 岩坂

上田 興夫(72歳) 3区
中林 富男(79歳) 川原町
田畑 きせ(96歳) 12区
杉田 アエ(78歳) 広戸
出崎 孝一(60歳) 轟木
三浦 由一(77歳) 風合瀬
櫻庭 清治(84歳) 北金3区
米谷 せつ(88歳) 柳田
七戸 慶喜(60歳) 岩崎上

深浦町の人口と世帯

《8月末日現在》()内は前月比

男 …… 4,356人(－5)
女 …… 4,890人(+1)
計 …… 9,246人(－4)
世帯数 3,899世帯(－7)

深浦町の総面積 488.86km²



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

みはる保育園のなかよしたち 「中秋の名月」

(左から)

にいおか さくじろうくん (6さい)
さとう こうせいくん (6さい)
おのほのかさん (5さい)
みうら そ うくん (5さい)
やました みずきさん (5さい)
にしざわ あいるさん (5さい)
いしざわ り おさん (6さい)



* 寄附者の紹介 *

ふるさと納税制度を利用したご寄附を次の方からいただきました。

○青森市 小角 達人 様

○弘前市 堀内 俊悦 様

ありがとうございました。



昔ながらの芸を楽しむ

8月13日、大間越地区で行われた獅子踊。お盆の帰省客にとって、楽しみにしている行事の1つとなっています。

県の無形文化財に指定されている獅子踊は、郷土芸能保存会が代々伝承してきているものの、近年は踊り手の後継者不足が課題となっています。

獅子踊が披露された稻荷神社境内には、この日を待ちわびた地域住民や帰省客が駆け付け、変わることのない郷土の芸を楽しみました。

